

# 読賣新聞



①荒砥沢ダム上流域の地滑り。最大落差は148mに達し、道路は約300m移動していた(国土地理院提供の画像を基に作成) ②安否不明者が乗っていたと見られる乗用車(左、16日午後5時14分、宮城県栗原市で、本社ヘリから)＝吉岡毅撮影

## 岩手・宮城地震

国土地理院は16日、岩手・宮城内陸地震の被災地の航空写真を公開した。大規模な地滑りが起きた荒砥沢ダム上流(宮城県栗原市)の写真からは、滑落により最大落差148mの崖ができ、道路などが水平方向で約300m移動したことが確

認された。地滑りの規模は、長さ1.2km、幅0.8kmと推定されるという。

## 道路300m動く

このほかに、岩手県一関市の震源近くで土砂崩れによるせき止め湖が出来ている状況なども確認できる。同院は15日から、被害の状況把握や復旧に役立てる写真と同院のホームページ

で順次公開する。

### 放置車の確認急ぐ

岩手・宮城内陸地震の発生から3日目の16日、宮城県栗原市内の山間部に車約20台が残されていることが宮城県警の調べでわかった。うち4台の運転手や同乗者の計6人については安否不明者として捜索が続いている。このほか地割れた道路に挟まれた車など2

城栗原市)など農業用ダムへの土砂流入が6か所、用水路やため池などの損壊が157か所、林道など林野関係の被害が177か所、養魚施設の被害が5か所などとなっている。栗原市は16日夕、同市沼倉放森の3世帯7人に対し、付近の山が崩落する恐れがあるとして、初めての避難指示を出した。

16日午後11時14分ごろ、岩手県北上市、宮城県栗原市などで震度4を観測する地震があった。震度4の余震は、14日以来、2日ぶり。

台の運転者について、連絡がとれておらず、県警は新たな安否不明者がいないかどうか確認を急いでいる。また、同市の旅館「駒の湯温泉」の倒壊現場から遺体で発見された男性は、旅館経営者の菅原孝さん(86)の長男、孝夫さん(58)と確認された。死因は窒息死。一方、農林水産省は同日、農林水産関係の被害が、岩手、宮城、山形、秋田の4県で計364か所に上ったと発表した。大規模な地滑りが起きた荒砥沢ダム(宮